

しなののうた

夕焼けは日が落ちてなお輝くも家並みはすでに墨色なりき



杉田小百合

しなののうた

家家に囲まれ育つ町中の一枚の田に稲穂の揺るる

杉田小百合



しなののうた

稲田には雀除けなる網張られ案山子も見えてふるさとを恋う

l.MI

杉田小百合

しなののうた

ちぎれ雲
思い
思いの形
あり
時を忘れて
行方を見遣る

杉田小百合



しなののうた

コンクリートの隙間にのぞく一本の月見草あり強かなりて



杉田小百合